

## ウサビ読了 「おはなしルームのぶなの実編 その2」

### ウサビ読了 「おはなしルームのぶなの実編 その2」

> ウサビ読解「おはなしルーム編その1」の続きです

朝日町の絵本読み聞かせサークル「ぶなの実」(昭和48年設立)の

3代目代表・登坂ひかるさんのお誘いで、

毎月、創遊館の図書館で行っている「おはなし会」の取材をすることになった桃色ウサビ。



登坂会長

取材の開始前に、ちょっとしたハプニングに見舞われるも、

持ち前のテキトーさで、なんとか乗り越えた中の人。



ハプニングの一例



なんだか人気が出そうな「つちゃこいウサビ」が登場

そして、いよいよ「おはなし会」の取材がスタートです。

梅津 「まずはじめに、6月9日にあるおはなし会では

どんな演目があるか紹介していきましょうね！」

と、今回、会長と一緒に取材を受けてくれる、ぶなの実のメンバー梅津透子さん…

…の、持っているカエルが言いました。



見ての通り、カエルがものすごくパクパクしてる

登坂会長 「今回は、季節柄、カエルをテーマにした絵本や劇が中心なのよ～」

と、登坂会長……が持っているカエルが言いました。

ウサビ 「すごーい、人形劇ってこんな感じなんだね。」

梅津カエル 「ぼくらは靴下で出来ているんだ！」

会長カエル 「こういう劇を人形ボードビルって云うんだよ～」



人形同士、ノリノリである

(ボードビルは、舞台劇全般を指す用語)

ウサビ 「おお、履きふるした靴下のくせに物知りだな！！」

会長カエル 「ちがうよ！新品靴下だよ！！」

梅津カエル 「ちょっと、テレビに出たからって、調子に乗るんじゃねえ！」



もはや寸劇である

登坂会長 「で、6月9日の公演では、この人形たちが歌を唄ったりするのよ。」

ウサビ 「(あ、会長に戻った！！) 何を唄うの？」

梅津 「与作よ。」

( 木を切るあの歌です)

ウサビ 「え？まじで??」

本当だそうです。

その他にも、エプロンを使った劇とか



梅津さんが実演

紙人形をつかった劇もあるらしい。



紙人形を使った劇を「ペープサート」と言う。



視力検査とはまったく関係ない

ウサビ 「いろんな劇が見れるんだね～

でも、まだ「絵本」が出てこないけど、絵本はどこ??」

そうなのです、読み聞かせの会なのに、先ほどから劇の紹介ばかり…

いったい絵本はどこにあるのでしょうか…

梅津 「よく気がついたわね。

今回のおはなし会で使うのは「大型絵本」というものなの。

こっちにいらっしゃいな…」

ウサビ 「巨大絵本…だと…？」



梅津さんに誘われるまま、ついていくウサビ…その先には何が？

梅津 「ここが、おはなし会の舞台

図書館の最深部でもある「おはなしルーム」よ！」



ここが、おはなしルームである。

子どもたちがみんなでお話を聞けるよう

広いスペースが確保されていて。

周りは絵本で囲まれています。



こんな感じでお話を聞ける

梅津 「そして、おはなし会で使う大型絵本というのがコレよ！！」



大型絵本の数々。後ろの絵本と比べると、その大きさがわかる。

大型絵本は、みんなが絵を見ながら楽しめるように開発されたものなのです。

ウサビ「すげー、でけーー」



桃色ウサビは耳まで入れるとおよそ2メートル20センチほどある。

ウサビ「これだけ大きいと、みんなで絵を見ながら楽しめるね。」

登坂会長 「こんな感じに使うのよ～」



登坂会長が実演

(大人気の絵本「はらぺこあおむし」)

ウサヒ 「会長、梅津さん、ありがとう。

これは楽しい会だね、みんなにもっと参加して欲しいね！」

登坂会長 「そうね。私としては、お話を聞く子たちはもちろん、

読み聞かせを一緒にしてくれるメンバーも大歓迎よ！」

梅津 「私も、移住したばかりのころ、この会に入って、

いろんな町の人と触れ合う機会が増えたの、

みんなで集まってお話できるってのも、この会の魅力ね。」

図書館でのおはなし会以外でも、

保育所やイベントに招待されて、読み聞かせを披露しているぶなの実のみなさん。

一緒に活動してくれるメンバーも広く募集中とのことです。



ぶなの実によろ創作人形劇 八ツ沼七不思議 「化け石」

朝日町にちなんだ、こんなオリジナル劇の公演もしていたりするんです。

登坂会長 「あとは、なんととっても、

図書館の絵本をたくさん活用して欲しいわ。

絵本を読んであげることで、親子の会話やふれあいももっと増えるわ。

楽しい本がいっぱいあるから、ぜひ図書館に借りに来てね。」



「楽しい読み聞かせ方は、おはなし会を参考にしね」と会長

梅津 「こんな感じに、絵もすごく可愛い絵本がたくさん出てるんです。

これ、私のおすすめ本。」



梅津さんのおすすめ、「オニじゃないよ おにぎりだよ」

ウサビ 「うん、わかった！ウサビもこれから、もっと図書館を活用するよ！」

登坂会長 「中の人も、「特命リサーチ 200x(コミック版)」や、

「釣り吉三平」ばかりじゃなく、いろんな本を手にとって見てね～」

朝日町図書館の中の人愛読書(事実)です。

中の人 「ぜ…善処します。(ばれてる……)」

と、いうわけで、最後はみんなで記念撮影。



(右上に見えるのは、山形国民文化祭のキャラクター・紅太郎)

会長、梅津さん、取材ご協力ありがとうございました。

次の「ぶなの実 おはなし会」は6月9日(土曜日)になります。

皆さん、お誘いあわせの上、ご来場ください。

桃色ウサビの朝日町探検「おはなしルームのぶなの実編」はこれでおしまし。

とっぴんぱらりんしゃん。

### 「おはなし会の参加者募集」

今回登場したおはなしサークル「ぶなの実」による

読み聞かせ&人形劇のイベント「ぶなの実 おはなし会」

6月の開催は以下の日程になります。

日時：6月9日(土曜日) 10時～

場所：創遊館内「図書館 おはなしルーム」

(一番奥の部屋です)

参加費：無料

演目：

- ・大型絵本「999 ひきのきょうだい」
- ・ペープサート(紙人形)「だれのたまごかな」
- ・カエル人形「与作」



このカエルが「与作」を唄うらしい…

・紙芝居「びっきのぼうさま」

・パネルシアター「たまごの中から」

お誘いあわせのうえ、お気軽に聞きに来てください。

お問い合わせは、ぶなの実への参加のご希望は

連絡先 登坂 Tel0237 - 67 - 2458 または図書館まで

## 次回予告

次の舞台は宮宿商店街

ウサビ 「ねえねえ！また、お宝見つけたよ！！！」

ミウラさん 「まさか…未だに未開封で販売中だと…！！」



お宝と云われるもの

今回のゲストはあとリエマサトの芸術家・ミウラタカノリさん。

( 空気神社お願いプチプチのパッケージデザイナー )

店員さん「ほーら、バーコードバトラー2ですよ〜」



知ってる方いますか??このカードメモ帳。

ママ 「あ、そういえば、ゲームボーイポケットの新品もあるわ！」

ミウラさん 「ま、まじですか?!」



次から次へと出てくるお宝に、70年代～80年代生まれの僕らは大興奮。

大切な、思い出がいっぱいいっぱい詰まってる。

そして、今も朝日町の生活に、欠かせないものをたくさん売ってる。

ここは、文具と雑貨の店「近江屋」。

朝日町のアマゾンドットコムの異名を持つ近江屋に、

ウサヒとミウラさんが大潜入！

次回、ウサヒ発掘 「町の文具店・近江屋 編」

お楽しみに